

## PF-UA 報告（今年度の活動）

庶務幹事 近藤 寛（慶応義塾大学）

平成 29 年度第 1 期のチームタイムが終わり、10 月下旬までのシャットダウン期間に入っております。この期間を利用して、第 2 期のチームタイムに向けたご準備を進められているユーザーの方も多いのではないかと思います。PF-UA も、平井会長のもと、ユーザーの皆様のご協力をいただきながら今年度の活動を活発に進めて参りたいと思います。すでに今年度になってからユーザアンケートをさせていただき、皆様の PF の利用状況やご要望に関する情報を集約させていただいているところです。また、多くのユーザグループの更新手続きも進めていただいています。皆様には日頃より多大な御協力を頂きまして、誠にありがとうございます。皆様の御協力を活かせるような PF-UA の活動を進めて参りたいと存じますので、引き続き、御支援と御協力を心よりお願い申し上げます。

今年度の PF-UA の活動に関しましては、6 月 5 日（月）に平成 29 年度第一回幹事会・運営委員会が開催され、下記のような活動予定を確認しました。（その他の議事に関しましては議事録をご参照ください。）

### 平成 29 年度の PF-UA の活動予定

#### 【KEK 放射光計画に関して】

- PF-UA の KEK 放射光検討委員会と施設側の KEK 放射光検討ワーキンググループとの連携のもとで、KEK 放射光計画の実現に向けて、CDR の改訂、TDR の作成を目指して PF-UA ・ KEK 放射光検討委員会の活動を行う。
- 計画の進捗状況に関して、KEK 放射光ホームページや PF-UA ホームページなどを活用して PF ユーザのみならず全国の放射光利用者、関係各所へ速やかに情報発信を行い、各ユーザ、ユーザグループを通じて、様々な分野・領域での研究会、学会等での広報を行い、all-Japan での合意形成を醸成する。広報活動を強化する。

#### 【ユーザグループの活動の強化に関して】

- PF-UA ホームページや登録ユーザ名簿などを活用して、ユーザグループ代表を中心とした加入の呼びかけ、ワークショップの開催などを積極的に行う。PF-UA からの補助を強化する。

#### 【PF-UA の財政基盤強化と賛助会員に関して】

- 財政基盤の安定化は、PF-UA の活動の継続性、独立性を維持する上で重要であるため、賛助会員の維持、新規の賛助会員の勧誘を行う。
- 賛助会員の待遇、きめ細かい情報提供サービスなどの改善を行う。
- 幹事、運営委員、ユーザグループ代表を中心として積極的な働きかけを行う。

## 平成 29 年度 第 1 回 PF-UA 幹事会議事録

日時：平成 29 年 6 月 5 日（月）13:00 – 15:00

場所：つくば国際会議場エポカル小会議室 303

出席者：[幹事会] 平井光博（会長）、近藤寛（庶務）、田中信忠（会計）、植草秀裕（行事・書記）、清水敏之（行事）、朝倉清高（戦略・将来計画）奥部真樹（推薦・選挙管理）、米山明男（共同利用）、奥田浩司（教育）

[KEK] 雨宮健太、村上洋一、船守展正

- 会長挨拶（平井会長）

#### 【報告事項】

- 平成 28 年度会計報告（田中会計幹事）
- JSR2018 報告（清水行事幹事）
- KEK のユーザー登録のホームページに関して（平井会長）
- ユーザアンケートの実施状況（平井会長）
- 施設報告（村上施設長）
- KEK 放射光の進捗状況等の報告（村上施設長）

#### 【協議事項】

- H29 年度予算案
- 財政基盤強化と賛助会員の勧誘について
- 運転時間確保に関する方策に関して
- 大学共同利用機関法人の見直しに関する対応に関して

## 平成 29 年度 第 1 回 PF-UA 運営委員会 議事録

日時：平成 29 年 6 月 5 日（月）15:00 – 17:00

場所：つくば国際会議場エポカル小会議室 303

出席者：[幹事会] 平井光博（会長）、近藤寛（庶務）、田中信忠（会計）、植草秀裕（行事・書記）、清水敏之（行事）、朝倉清高（戦略・将来計画）奥部真樹（推薦・選挙管理）、米山明男（共同利用）、奥田浩司（教育）

[運営委員会] 佐々木聡、佐藤衛、中山敦子、若林裕助、今井基晴、増田卓也、木村千里、雨宮健太、村上洋一、船守展正

- 会長挨拶（平井会長）

#### 【報告事項】

- 会計報告（田中会計幹事）  
平成 28 年度会計報告（最終）を行った。平成 28 年度は黒字となった。企業展示等の減少により収入が減少したが、展示会経費も減少したためである。関連した質疑応答を行った。

- JSR2018 報告（清水行事幹事）  
第 31 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム（JSR2018）に共催として参加している。準備状況等を紹介した。JSR2018 は 2018 年 1 月 8-10 日につくばエポカルで開催される。JSR2019 は 2019 年 1 月 9-11 日に福岡国際会議場を予定している。
- KEK のユーザー登録のホームページに関して（平井会長）  
現状の問題点を確認し、議論を行った。PF-UA ホームページや会員登録システム等の整備や運用は KEK のユーザー登録システムと連携が重要であり、引き続き施設側に提案・要望を行う。会則 5 条第 1 項正会員の資格の年限を年度ごとではなく、ユーザー登録がなくなってから何年という年限に改訂するという方向で検討する。
- ユーザーアンケートの実施状況（平井会長）  
アンケート回答について、概要が紹介された。また実施について、回答率や方式、内容に関する議論を行った。回答率を上げるために、期間を延長して実施することとした。
- 施設報告（村上施設長）  
共同利用実験関連（予算推移、運転時間、運転状況、G 型課題数推移）、共同利用成果（論文登録数推移、被引用数）、共同利用強化、BL 整備関連報告を行った。
- KEK 放射光の進捗状況等の報告（村上施設長）  
進捗状況として、CDR v1.1 発行、MAC（KEK-LS Machine Advisory Committee）実施、量子ビーム利用推進小委員会（第 8 回）、ならびに関連報告を行った。今後も検討を継続するが CDR の改訂、TDR 作成は外部の状況を注視しながら慎重に進める。
- H29 年度の PF-UA の活動予定（平井会長）  
KEK 新放射光関係、全国の利用者や関係各所へ情報発信（広報活動強化）、ユーザーグループ加入呼びかけなど活動の強化を行う。

#### 【協議事項】

- H29 年度予算案を承認した。
- 財政基盤強化と賛助会員の勧誘について議論し、賛助会員を担当する小委員会が注力することとした。
- 運転時間確保に関する方策に関して、議論を行った。アンケートの延長実施を行う。働きかけの方策、ユーザーがどのように協力できるか（旅費支給基準、外部資金の利用）を議論した。
- 大学共同利用機関法人の見直し（文部科学省科学技術・学術審議会「今後の共同利用・共同研究体制の在り方について」（第 86 回研究環境基盤部会、H29.1.31））への対応について議論を行った。KEK でも検討を行っているが、PF-UA からの協力可能性を検討する。